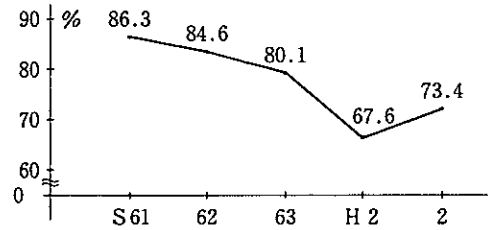


財政状況 チェックポイント

市の財政が健全に運営されているかどうかを見るために、いくつかのチェックポイントがあります。経常収支比率、実質収支比率、地方債許可制限比率の3つについて、過去5年間の推移を見てみましょう。計画的な財政運営が行われ、着実に財政の健全化が進んでいることが分かります。

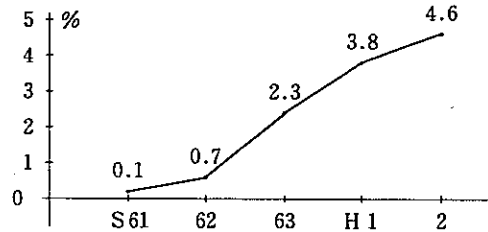
● 経常収支比率

人件費や公債費など、継続して固定的に支出される経費に、一般財源（地方税や地方交付税のような経常的に入ってくる収入）がどの程度使われているかを見るもの。70%程度なら健全財政。



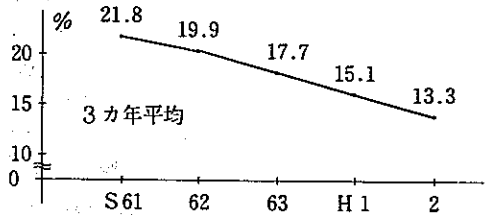
● 実質収支比率

標準財政規模（標準的な状態で市に通常収入される額）に対する実質収支（翌年度へ繰り越す事業の財源を引いた実質的な歳入と歳出の差額）の割合で、3～5%程度が望ましいとされています。



● 地方債許可制限比率

標準財政規模に対する公債費の割合のこと。3カ年平均で20%を超えると地方債の発行が制限されます。



特別会計決算

○ 国民健康保険特別会計	
歳入	21億6,819万円
歳出	18億8,251万円
○ 老人保健特別会計	
歳入	20億1,874万円
歳出	20億0,145万円

性質別歳出の内訳（構成比）

平成2年度		元年度	
その他	30.0	その他	34.6
義務的経費	38.7	義務的経費	41.6
普通建設事業費	31.3	普通建設事業費	22.4
単独事業	20.6	単独事業	12.6
補助事業	10.7	補助事業	9.8
人件費	25.2	人件費	25.3
公債費	8.4	公債費	11.4
扶助費	5.1	扶助費	4.9
積立金	5.8	積立金	11.0
補助費等	9.3	補助費等	8.6
物件費	8.2	物件費	8.1
その他	6.7	その他	6.9
災害復旧事業費	1.4	災害復旧事業費	1.4

財政健全化 公債費負担適正化 指導団体から脱却

市では、財政状況の悪化から昭和五十九年度から「財政健全化計画」を進めてきました。さらに、国から市町村に対し公債

費負担適正化促進措置が行われたことから、昭和六十二年に「公債費負担適正化計画」を策定し、財政の健全化に努力してきました。その結果、平成2年度の決算見込みでは、地方債許可制限比率が単年度で二・一％、三カ年平均一・三・三％となりました。計画の目標であった一・六％をクリアし、平成2年度の指導団体から脱却することができました。

用語説明

歳入 〔市税〕 市民税、固定資産税、都市計画税など
〔地方交付税〕 所得税、法人税、酒税など国税の一部が市町村の財政力に応じて交付されるもの〔市債〕 市が資金調達のため行う借金〔国庫支出金・県支出金〕 国・県が公益性があると認めて支出するお金〔諸収入〕 市が産業振興のため融資しているお金の返済金など

歳出 〔教育費〕 学校教育、社会教育などに使うお金
〔土木費〕 道路、橋など将来に残る施設を建設するために支出するお金〔民生費〕 老人福祉、児童福祉、社会福祉、生活保護などに使うお金〔総務費〕 公文書の管理、選挙、統計調査など市役所の仕事を円滑に行うために使うお金〔公債費〕 市債の返済金〔農林水産業費〕 農業振興のために使うお金

歳出 97億4,146万円		歳入 100億0,216万円	
20億円	10	10	30億円
20億0,057万円(20.5%)	9億2,371万円(10.4%)	33億8,835万円(33.9%)	32億6,503万円(35.9%)
17億0,572万円(17.5%)	16億6,196万円(18.7%)	24億6,135万円(24.9%)	26億3,308万円(28.9%)
15億3,730万円(15.8%)	14億1,064万円(15.9%)	12億5,320万円(12.5%)	5億1,950万円(5.7%)
15億0,130万円(15.4%)	18億0,794万円(20.3%)	8億1,719万円(8.2%)	7億5,629万円(8.3%)
8億2,247万円(8.4%)	10億1,107万円(11.4%)	4億6,455万円(4.6%)	5億2,998万円(5.8%)
6億0,951万円(6.3%)	5億7,046万円(6.4%)	3億8,803万円(3.9%)	3億3,690万円(3.7%)
15億6,459万円(16.1%)	15億0,178万円(16.9%)	12億2,949万円(12.0%)	10億5,747万円(11.7%)

歳入 歳入では、前年度と比べると九億三千九十一万円(九・九%)増加しました。増加した主な項目は、市税で一億二千三百万円、繰越金で一億五千万円、国・県支出金で一億一千五百万円、市債で七億三千三百万円となっています。国庫支出金と市債の増加は、白根北中学校建設事業に伴うものです。

歳出 歳出では総額が九十七億四千四百六十六万円、前年度に比べ八億五千九百九十九万円(九・六%)の増加となりました。安定した財政運営の確保のため、特に経常的経費(毎年度継続して支出される物件費などの固定的

歳入 白根北中学校建設のため市債が増加

平成2年度の一般会計予算は、八十八億一千六百万円でスタート。その後いろいろな行政需要にこたえるため、八回の補正を行い最終予算規模は、九十八億九千七百九十九万円に達しました。決算見込み額では、歳入が百億二千六百万円、歳出が九十七億四千四百六十六万円、差し引き二億六千七百九十九万円を平成3年度に繰り越すこととなります。

歳出 投資的経費が7.5ポイント増加

歳出では総額が九十七億四千四百六十六万円、前年度に比べ八億五千九百九十九万円(九・六%)の増加となりました。安定した財政運営の確保のため、特に経常的経費(毎年度継続して支出される物件費などの固定的



4年4月開校を目指し工事が進む白根北中学校

効率的な財政運営に 努めています

平成2年度一般会計の決算状況(見込み)をお知らせします。決算額は歳入が百億二百十六万円、歳出が九十七億四千四百六十六万円でした。この決算状況は、今後市議会で審議され、認定を受けて確定します。

2年度 主な建設事業

- 白根北中学校建設用地取得・校舎建設事業(継続事業) 11億5,687万円
- 白根総合公園建設事業(継続事業) 8億4,157万円
- 道路橋りょう整備事業 3億5,936万円
- 農業生産体質強化総合推進事業(野菜集出荷施設など) 1億0,137万円
- 街路整備事業 9,383万円
- デイ・サービスセンター建設事業 6,231万円
- 地盤沈下対策事業負担金 6,117万円
- 農村総合整備モデル事業 5,937万円